

業績ハイライト

平成29年9月中間期の決算

平成29年9月中間期(平成29年4月1日～平成29年9月30日)の決算は、経常収益につきましては、有価証券等の市場取引に係る収益が減少したこと等により、前年同期比68億80百万円減少の173億88百万円となりました。

経常利益につきましては、貸倒引当金戻入益が増加したことおよび経費が減少した一方で、有価証券のポートフォリオ見直しに伴う国債等債券売却損を計上したこと等により、前年同期比3億4百万円減少の20億44百万円、中間純利益につきましては、前年同期比2億69百万円増加の21億22百万円となりました。

預金・貸出金等の状況

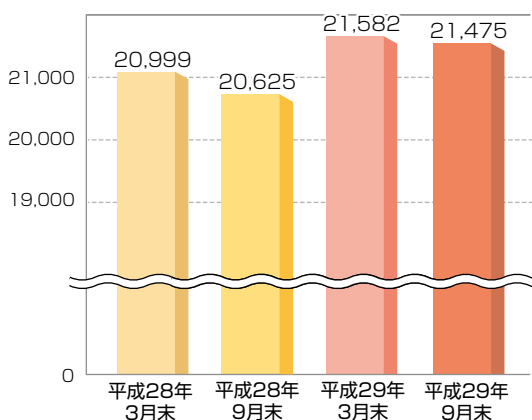
平成29年9月末の総預金残高は2兆1,475億円となり、前年同期比850億円増加、平成29年3月末比106億円減少しました。また、個人預かり金融資産残高は3,061億円となり、前年同期比104億円増加、平成29年3月末比42億円増加しました。

平成29年9月末の総貸出金残高は1兆4,773億円となり、前年同期比560億円増加、平成29年3月末比207億円増加しました。

(注)個人預かり金融資産残高は、投資信託、生命保険、公共債の合計であり、外貨預金は含んでおりません。

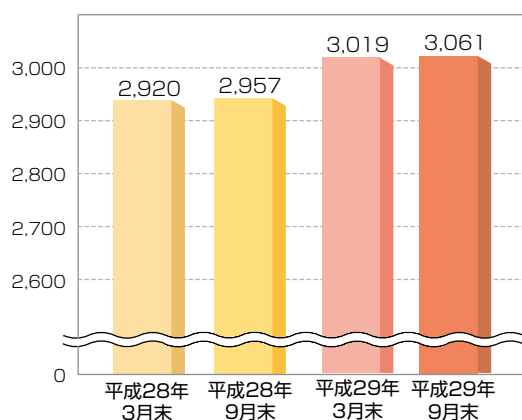
■預金残高

(単位：億円)



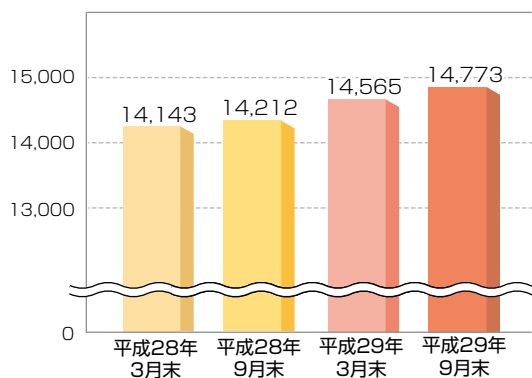
■個人預かり金融資産残高

(単位：億円)



■貸出金残高

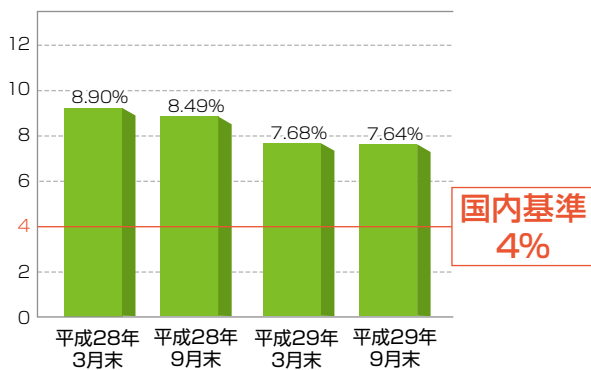
(単位：億円)



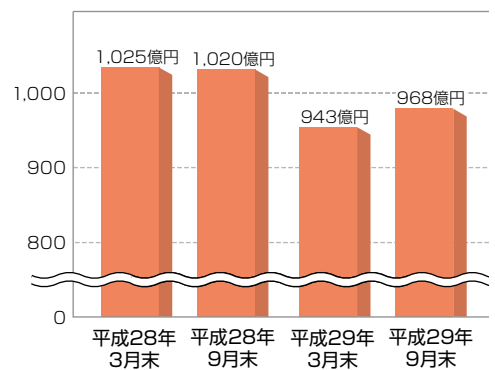
自己資本比率

- 平成29年9月末の自己資本比率(国内基準)は、利益の積み上げによる自己資本の増加がありましたが、他方で法人・中小個人向け等の貸出金増加によるリスクアセットの増加があり、前年同期比0.85%ポイント、平成29年3月末比0.04%ポイントそれぞれ低下し、平成29年9月末では7.64%となりました。

■自己資本比率(国内基準)



■自己資本額(国内基準)



不良債権の状況

- 債権総額中に占める金融再生法開示債権(いわゆる不良債権)の比率は、平成29年3月末の2.46%が平成29年9月末には2.21%となりました。
 なお、当行は部分直接償却を行っておりませんが、部分直接償却を行った場合のこの比率をみますと、平成29年9月末で2.00%(平成29年3月末では2.20%)となっております。

■平成29年9月末の不良債権の状況

